

海外子会社

# 売上高、5年後3倍

塗料原料  
や電材  
中国・東南アで拡販

## イーグルスミコーポレーション

イーグルスミコーポレーションは中国、東南アジアを中心とした海外展開の強化拡大により、海外子会社の売上高を5年後に現在の約3倍の45億円に拡大する。上海の現地法人に加え、一昨年から昨年にかけて設立した香港や廈門の現地法人で営業活動を加速する。廈門の現地法人はハイエントナ塗料用原料をローカ

ル企業に拡販する。また香港の現地法人は東南アジアへ販路拡大を目指す。同社は中国と韓国に現地法人を持つ。2005年に上海に現地法人を設立。14年12月には香港に現地法人を立ち上げたのに続き、15年に入り中国・廈門に合弁会社を設立した。韓国の現地法人とあわせアジア展開を強化

している。

香港の現地法人は中国のローカル企業や日系企業が生産したさまざまな化学品を東南アジアに輸出したり、逆に東南アジアから輸入して販売するなど東南アジアでの販路を拡大する。廈門の合弁会社では、日本からの輸出および中国の日系メーカーが生産したハイエントナの塗料用原料をローカル企業に販売する。上海の現地法人では中

国の日系企業を対象に電子材料を拡販する。また中国のローカル企業が生産したハイエントナ電子材料向けの商材を日本に輸入する。イーグルスミコーポレーションは今年1月から新たな5カ年中期経営計画をスタートした。最終年度の20年度にグループ売上高335億円(単体290億円)を目指している。海外展開の強化と高付加価値品の販売を柱に目標を達成する。